

## 全国肉牛事業協同組合との提携について

### ～ 提携を活用した ABL への取組み～

株式会社東北銀行（取締役頭取 浅沼 新）は、アグリビジネス支援の強化の一環として、全国肉牛事業協同組合（理事長 山氏 徹、以下「JCIC」という。）と提携し、肉用牛生産事業者に対し、肉用牛を担保とした ABL（流動資産一体型融資）を行って参りますので、下記の通りお知らせ致します。なお、JCIC との提携は、岩手県内では初の取組みとなります。

当行は、今後ともお客様の多様化するニーズに応え、アグリビジネスへの取組みを一層拡充して参ります。

#### 記

#### 1. 提携の内容

担保取得する肉用牛の評価・管理・処分支援について、JCIC と業務委託契約を行いました。JCIC は、国が整備する個体識別番号（トレーサビリティ）制度を活用し、肉用牛 1 頭毎に評価・管理を行います。

#### 2. 提携を活用した ABL

##### (1) 貸出の内容

肉用牛を担保に融資極度枠を設定。一定の融資枠を設定することで運転資金ニーズに迅速かつ安定的に対応が出来、円滑な資金調達が可能となります。

##### (2) 担保評価および管理

JCIC から肉用牛の適正な評価及び異動、出荷、死亡等の最新の管理状況の報告を受けます。

#### 3. 肉用牛経営の特徴

肉用牛経営は素牛の導入費用に加え、導入から出荷までの育成期間が長く、その間の飼料代や諸経費の発生が見込まれ多額の運転資金が必要になります。

以上